

## 双葉町復興まちづくり委員会及び部会の当面の審議事項について

10月16日第3回委員会「今後の審議の進め方について」の各テーマについて、年内3回の委員会・部会に以下のとおりの割り振り審議を進める。

### 【委員会】

#### ：「双葉町復興まちづくり計画」が目指すべきものについて

##### ・計画の位置づけ

→単に「仮の町」※や「現在の双葉町の復旧・復興」にとどまらず、短期的な課題（避難生活の改善等）、中期的な課題（本格的な生活再建等）、長期的な課題（双葉町の復興等）を網羅した長期的な指針であるべきではないか

※「仮の町」とは、双葉町への帰還を目指すまでの間（中期的）の当面の生活拠点の場となる。

⇒ 11月12日第4回委員会

##### ・計画の対象

→いまどこに住んでいようと、今後どこに住もうと、すべての双葉町民を対象とした計画であるべきではないか（「仮の町」に住まない、双葉町に戻らないと決断された方も含めた計画が必要ではないか）

⇒ 11月12日第4回委員会

##### ・計画の基本理念

→計画に掲げる基本理念（キーワード）をどのように考えるか

⇒ 11月26日第5回委員会

## 【生活再建部会】

： 当面（帰還まで）の生活拠点の在り方について（短中期的課題）

- ・ 当面の生活拠点として、多くの町民がまとまって住む、大きな「仮の町」を必要とするかどうか

⇒ 11月12日第4回委員会

- ・ 「仮の町」は帰還までの仮の拠点とだけ考えるか、それとも移住する町民も視野に入れて考えるか

⇒ 11月12日第4回委員会

- ・ 「仮の町」はどのような町が望ましいか（例：放射線の安全性、交通の利便性、職場の近接性、気候風土の類似性、学校・公民館等公共施設）

⇒ 11月26日第5回委員会

- ・ 双葉町で育つはずだった子供たちの教育をどのように考えるか

⇒ 12月11日第6回委員会

- ・ 「仮の町」に住まないと選択された方にどのような支援が必要か

⇒ 12月11日第6回委員会

## 【ふるさと再建部会】

： 双葉町への帰還に向けて必要な条件と双葉町の土地の復旧・復興について（中長期的課題）

・ 帰還するためにどのような条件が必要か（例：福島第1原発廃炉作業の安全性、放射性物質の除去の程度、インフラ・ライフラインの復旧）

⇒ 11月12日第4回委員会

・ 全域が帰還できるまでに相当な時間を要する場合に、線量が低くなった土地の利用の在り方についてどのように考えるか

⇒ 12月11日第6回委員会

・ 津波被災地域の土地利用をどのように考えるか

⇒ 11月26日第5回委員会

## 【きずな部会】

： 現在及び将来にわたる双葉町の文化・コミュニティの維持について

・ 全国に避難している双葉町民のコミュニティをどのように維持するか

⇒ 11月12日第4回委員会

12月11日第6回委員会

・ 双葉町の歴史・文化を避難生活が長期化する中でどのように継承していくか

⇒ 11月26日第5回委員会